高温等の気候変動への適応策（概要版）

令和５・６年の記録的猛暑により農作物の収量・品質の低下等の影響が県内広く発生。気候変動により今後予測される被害を回避し軽減する適応策に取り組む必要。

水　稲

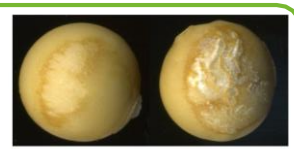
【Ｒ５・６に発生した影響】
- 玄米品質の低下（白未熟粒率　R5：平年比250%）
- 生育の前進化（刈取適期　R5：平年差－10日）
- 斑点米カメムシ類の被害増加（被害面積率　R6：平年比209%）

白未熟粒

【今後の主な取組内容】
- **品種の開発：温暖化に対応した新たな高温登熟耐性品種の開発【強化】**
- **栽培時期の変更：生育の前進化に対応した適期管理、適期刈取の指導**
- **病害虫対策：発生予察や技術情報発信等による適期防除指導**

小麦・大豆

【Ｒ５・６に発生した影響】
- 収量の低下（大豆収量　R5：平年比67%）
- 品質の低下（大豆１・２等級比率　R5：平年比44%）
- 生育の前進化（小麦成熟期　R5：平年差－８日）


莢ずれ（着色を伴う不定形裂皮粒）

【今後の主な取組内容】
- **栽培時期の変更：作型の見直し（大豆）【新規】**
- **管理方法の改善：開花期以降の畦間かんがいの指導（大豆）**
- **栽培時期の変更：生育の前進化に対応した適期刈取の指導（小麦）**

露地野菜

【Ｒ５・６に発生した影響】
- 収量の低下（特に９～10月の低下が著しい）
- 品質の低下（小玉化 (キャベツ等)、襟割れ(ねぎ)、尻腐果 (ピーマン)）
- 虫害の発生時期の早期化・長期化

ピーマン尻腐果

【今後の主な取組内容】
- **新品目の導入：温暖化に対応した品目の導入検討【新規】**
- **管理方法の改善：マルチ等の活用指導、かん水設備の導入促進**
- **病害虫対策：発生予察による害虫の適期防除指導**

施設野菜

【Ｒ５・６に発生した影響】
- 収量の低下（特に８～９月の低下が著しい）
- 品質の低下（小玉化・着色不良・尻腐果(果菜類)、葉焼け（葉菜類））
- 虫害の発生時期の早期化・発生量増加、高温性病害の増加

トマト尻腐果

【今後の主な取組内容】
- **新品目の導入：温暖化による収量・品質低下の少ない品目の導入検討【新規】**
- **管理方法の改善：新たな遮光資材の効果検証、日射量に応じたかん水管理指導**
- **病害虫対策：発生予察や技術情報発信、高温性病害に強い品種の選定**

花　き

【Ｒ５・６に発生した影響】
- 収量・品質の低下（日焼け花(りんどう)、開花期の遅延(小ぎく)）
- 開花期の前進・遅延、生育不良の発生
- 高温性病害の増加、虫害の発生時期の早期化・長期化、発生量増加

りんどう日焼け花

【今後の主な取組内容】
- **品種の開発・導入：温暖化に対応した新品種の開発【新規】**
- **管理方法の改善：天候に応じたかん水管理指導、局所遮光の実施啓発**
- **病害虫対策：発生予察等による適期防除指導、病害虫防除暦の見直し**

果　樹

【Ｒ５・６に発生した影響】
- 収量の低下（日焼け果、生理落果）
- 果実品質の低下（着色不良、軟化・褐変(りんご)、酸度低下(ぶどう)）
- 病害虫被害の増加、発生期間の長期化

りんご日焼け果

【今後の主な取組内容】
- **品種の開発：温暖化に対応したりんごオリジナル品種の開発**
- **新品目の導入：温暖化に適した品目（もも等）の栽培実証【強化】**
- **病害虫対策：発生予察に基づく適期防除指導、病害虫防除暦の見直し**

飼料作物

【Ｒ５・６に発生した影響】
- 収量の低下（牧草 再生不良・夏枯れ）
- 収穫適期の前進化
- サイレージ品質の低下（枯死部の混入(牧草)、刈り遅れ(ﾄｳﾓﾛｺｼ)）

牧草の夏枯れ（空撮）

【今後の主な取組内容】
- **新草種・品種の導入：越夏・耐暑性に優れる牧草類・飼料作物の普及拡大**
- **新技術の開発：多草種混播技術・牧草追播技術の開発【新規】**
- **管理方法の改善：基本的な収穫技術の励行指導、適期収穫指導**

畜　産

【Ｒ５・６に発生した影響】
- 夏季の生乳生産量の低下
- 生乳品質の低下（乳脂肪分率、無脂乳固形分率、体細胞数）
- 繁殖成績の低下、周産期疾病による死亡牛の発生

畜舎内の温度上昇

【今後の主な取組内容】
- **畜舎管理の改善：暑熱対策（換気システムの増強等）指導【強化】**
- **飼養管理の改善：暑熱対策（良質粗飼料の給与方法等）指導**
  牛群検定データによる暑熱の影響把握と対策指導